

2019 年度 事業報告

【キーパーソン 21 の活動目的】

キーパーソン 21 は、主に小中学生から大学生世代に対して、様々な社会人との交流の場を作り、自分の将来について考えるきっかけを持つことで、一人ひとりが視野を広げ、社会へ旅立つことの自覚と自立心を醸成していけるよう寄与することを団体の目的としています。また、すべての世代が、わくわくしながら主体的に社会参加することを支援し、一人ひとりを最大限に活かす社会を創造することを目指します。

【2019 年度目標】

わくわくエンジン[®]をあたり前の社会にするために、中期事業計画で定めた 6 つの事業領域それぞれで礎^{いしずえ}となる事業モデルをつくり、あらゆる領域・地域で事業を展開できるようにするための体制づくりと広報手段を整えます。

また、キーパーソン 21 の考えや活動を全国に有効かつ効率的に展開するため、組織体制の整備と業務管理のシステムづくりを行います。

【2019 年度活動報告サマリ】

中期事業計画における 6 つの事業領域の事業モデルは以下のとおり。

＜親・家庭＞：事務局主催の親子体験プログラムの開催、有明地域と連動して親子向けに行うなどリアルな親子向けモデルを構築した。また、オンラインプログラムをトライアル実施し、リアルとオンラインの両軸で展開できるモデルの構築に近づいた。2020 年度、地域チームなどでの実行フェーズに乗せることができるところまできた。

＜教員・学校＞：学校の先生方と企業人が同じ場で理解を深めるための事前研修を行い、一過性の出前授業ではなく、学校を中心とするまちづくりに繋がる取り組みに近づくモデルとなった。2020 年度の学校実施においては、川崎事務局から地域チームへと展開できる礎となった。

＜大学生・大学＞：自由学園最高学部と北関東チームとの連携により、大学の教授陣、保護者、卒業生を巻き込む形で、大学との連携モデルの構築が進んだ。

＜企業人・企業＞：企業をはじめとし、行政、先生方にお集まりいただいた交流会（2/13）を開催することで、協働しながら進む展開のイメージを持っていただけた。

＜生きづらさ＞：学習支援・居場所づくり事業において、わくわくエンジンから子どもの変化変容を内部で意識する取り組みを行った

＜まちづくり＞：全国各地において、NPO、企業、行政、学校と連携する様々な取り組みからまちづくりのモデル構築が進んだ。

広報に関しては、公式 HP のリニューアルは保留となったが、細かく現状に合わせた更新を行った。広報担当をアサインし HP39 本、FB133 本の記事をアップした。

業務管理のシステムに関しては、Dropbox 利用を活発化し担当アサイン、SalesForce の管理項目の検討開始。オンライン化が進み Zoom の契約拡大。

組織体制は、経理のアウトソース開始と事務局に 3 名の新人を採用し人員不足を改善。

19 年度の計画外の活動の成果としては、毎年実施の大学生を社会に送り出す会（3/21）

をオンライン化、元大学生会員の OBOG 会が発足、相模原市総合計画委員に朝山代表が就任し委員会活動に参加。最も大きな収入として、米コカ・コーラ財団からの寄付（約 1,900 万円）を受けた。

【事業内容】

I 特定非営利活動に係る事業

1. キャリアプログラムの開発、展開事業

収益金額 : 14,884,400. 費用金額 : 10,546,184.

1) プログラム開発事業

■計画

- ・実施対象にあわせたプログラムの開発・調整と事業モデルの確立
- ・普及させやすいプログラムの設計と開発
- ・プログラム実施の質を確保するための仕組み構築と補助資料の整備

■活動サマリ

親・家庭領域および、生きづらさ領域において、オンラインプログラムの開発に着手した。次年度にブラッシュアップする予定。

■実績

<親・家庭領域>

- ・「すきなものビンゴ」をオンライン仕様にモディファイし、親子向けに開発。トライアル実施し、およその流れをつくることができた。
- ・川崎市からの委託事業「寺子屋」において、親子が相互に理解しコミュニケーションをとることのできるプログラをつくることをねらいとし、親子で取り組んだ内容を映像化するプログラムの開発にチャレンジした。

<生きづらさ領域>

- ・学習支援・居場所づくり事業において、コロナの影響に対応するべく、テレビ会議システムを活用しオンラインシステムで子どもたちに提供を開始し、普段なかなか集中できない子が意欲をみせるなど学習効果と、居場所としての機能を提供することができた。保護者からの評判も高い。

2) プログラム展開事業

●川崎事務局によるプログラム実施

■計画

- ・協賛企業、学校、キーパーソン 21 会員の連携による「企業の子ども応援プロジェクト」として、川崎市内の公立小・中・高校でのモデル事業づくりを含め、約 10 校でプログラムを実施する。子ども約 2000 名を想定。
- ・日本コカ・コーラ株式会社との連携で「5by20 女子起業！わくわくプロジェクト」を継続実施する。12 校 1,200 人の高校生女子・大学生女子を対象とする。
- ・親子、家庭向けの事業モデルの一つとして、学校外において親子向けにプログラムを行う、親子向けに個別対応のプログラム solo-solo を行う
- ・PTA との事業モデルとして、東京有明地域との協働によりプログラムを行う。
- ・大学での事業モデルの一つとして、学校法人自由学園最高学部との協働によりプログラムを行う。
- ・行政との事業モデルの一として、島根県江津市との協働によりプログラムを行う。

愛媛県佐礼谷地域の小中学校と連携してプログラムを行う。沖縄の行政や大学、居場所づくりの団体と連携してプログラムを行う。

■活動サマリ

川崎事務局主導により、企業の子ども応援プロジェクト、コカ・コーラ 5by20「女子起業！わくわくプロジェクト」、川崎近隣での実施、地方との協働による実施などにより、合計 4,039 名の子どもたちに、566 名の大人たちとプログラムを届けた。

- ・「企業のこども応援プロジェクト」として 10 校 615 名の子どもたちに対し、大人わくわくナビゲーター196 名が参加して実施。（※表あり）
- ・コカ・コーラ 5by20「女子起業！わくわくプロジェクト」では 7 校で 2,075 名に実施（16 歳以上女子約 1,000 名）（立命館宇治、立命館慶祥はコロナの影響で中止となった。）（※表あり）
- ・地元川崎市での本部実施として、川崎中学校、川崎高校定時制の 2 校にて 315 名に、大人 44 名と実施。
- ・親・家庭事業の施策として会員向け親子体験プログラムを夏休みに展開。16 名に大人 9 名と実施。
- ・保護者がわくわくナビゲーターとなる「有明わくわくプロジェクト」3 年目は 2 校 119 名に大人 55 名と実施。
- ・大学事業モデルづくりとして学校法人自由学園最高学部と 23 名に大人 15 名と協働実施。
- ・島根県江津市で計 4 回の研修で 37 名のわくわくナビゲーター誕生。江津高校 1 年生、郷田小学校 6 年生の 97 名に、大人 11 名と実施。
- ・愛媛県伊予市佐礼谷地区では、県 PTA 予算で校長先生からのご依頼で 2 小学校、1 中学校 122 名に、大人 3 名と実施。
- ・沖縄県うるま市教育委員会経済部連携事業『児童会役員リーダー研修』を、一般社団法人ジョブリッジを通じて協力。うるま市内の小学校 6 年生の児童会役員が各校より 3 名ずつ参加し、54 名に実施。

■実績：企業のこども応援プロジェクト

	月	日	曜日	地域	対象団体名	区分／対象	学年	生徒数	大人人数	プログラム名	協賛企業
1	6	28	金	渋谷区	原宿外苑中	中学校	1	101	25	おもしろい仕事人がやってくる・すきなもののビンゴ＆お仕事マップ	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
2	7	6	土	大田区	田園調布学園	中等部	3	40	20	かっこいい大人ニュース	NTTデータシステム技術株式会社
3	9	6	金	港区	六本木	中学校	2	60	5	おもしろい仕事人がやってくる・すきなもののビンゴ＆お仕事マップ	ランスタッド株式会社
4	9	19	木	渋谷区	渋谷本町学園	小学校	6	83	26	おもしろい仕事人がやってくる・すきなもののビンゴ＆お仕事マップ	カシオ計算機株式会社
5	10	29	火	渋谷区	渋谷本町学園	中学校	7	63	18	コミュニケーションゲーム	カシオ計算機株式会社
6	11	22	金	渋谷区	笹塚	中学校	1	44	16	おもしろい仕事人がやってくる・コミュニケーションゲーム	カシオ計算機株式会社
7	12	6	金	川崎市	下作延	小学校	1	59	18	おもしろい仕事人がやってくる・すきなもののビンゴ＆お仕事マップ	株式会社エヌアセット
8	12	10	火	渋谷区	広尾	中学校	1	58	27	おもしろい仕事人がやってくる・すきなもののビンゴ＆お仕事マップ	カシオ計算機株式会社
9	1	18	土	港区	赤坂	中学校	1	21	14	おもしろい仕事人がやってくる・すきなもののビンゴ＆お仕事マップ	株式会社WOWOW
10	1	24	金	港区	高陵	中学校	1	86	27	おもしろい仕事人がやってくる・コミュニケーションゲーム	ランスタッド株式会社
							合計	615	196		

●企業の子ども応援プロジェクト研修

企業人+先生合同で研修を行った

◎カシオ計算機(株) (18 名) + 渋谷本町学園先生 (8 名)

◎ランスタッド(株) (16 名) + 六本木中学校先生 (4 名)

企業人に研修を行った

◎カシオ計算機(株) (15 名)

◎ランスタッド(株) (16 名)

◎三井住友 DS アセットマネジメント株式会社 (7 名)

◎株式会社エヌアセット（5名）

◎株式会社 WOWOW（7名）

■実績：5by20「女子起業！わくわくプロジェクト」

月	日	曜日	地域	対象団体名	区分／対象	学年	生徒数	起業家	学校側が解決したい課題
1	5	7	火	川崎市	専修	大学	経済学部 418 (内16歳以上の女子141名)	株式会社Join for kaigo 秋本 可愛氏	
2	10	3	木	滋賀県	県立甲西	高等学校	2 237 (内16歳以上の女子130名)	CITTA手帳 手帳講師 青木 千草氏	受験を前にした生徒がわくわくエンジンに気がつくことで、学習する意味をより深く捉えられると考えられるため。
3	10	7	月	新潟県	新潟県立中央	高等学校	2 350 (内16歳以上の女子340名)	(株)農プロデュースリッツ代表取締役 新谷 梨恵子氏	
4	10	30	水	沖縄県	豊見城南	高等学校	1,3 309 (内16歳以上の女子115名)	株式会社ナンポー 安里 睦子氏	今後の社会との関わり方、夢など常に目標を掲げ日々成長、進化していくことの大切さを学んでほしい
5	11	11	月	横浜市	捜真女学校	高等学校	1 173 (内16歳以上の女子103名)	株式会社エニタイムズ 角田 千佳氏	自分を知りその活かし方を考えること、そして社会と自分がつながっていることを日常生活の疑問から仕事を考えていく起業家の話から感じてもらうことをねらう。そして、これからの主体的な進路選択、人生選択につなげる。
	11	18	月						
6	12	18	水	滋賀県	近江	高等学校	2,3 268 (内16歳以上の女子105名)	CITTA手帳 手帳講師 青木 千草氏	受験を前にした生徒がわくわくエンジンに気がつくことで、学習する意味をより深く捉えられると考えられるため。
7	12	19	木	滋賀県	彦根翔西館	高等学校	1 320 (内16歳以上の女子120名)	株式会社いと 山崎 いずみ氏	受験を前にした生徒がわくわくエンジンに気がつくことで、学習する意味をより深く捉えられると考えられるため。
合計							2,075名 (内16歳以上の女子約1,000名)		

●地域チームによるプログラム実施

■計画

- ・北海道チーム：トークセッションを開催する
- ・新潟チーム：小学校 2 校実施する
- ・北関東チーム：児童養護施設泰山木においてプログラム実施する
- ・湘南チーム 寒川中学校においてプログラム実施する

その他、全国各地における、日本コカ・コーラ株式会社「5by20 女子起業！わくわくプロジェクト」実施や自由学園における実施など川崎事務局と協力体制をとる。

「大学」「まちづくり」など川崎事務局主導のプログラム実施などにおいて地域チームとの協働を探る。

■活動サマリ

北関東、東京、湘南、新潟の地域において、16 回、559 名の子どもたちに、138 名の第三の大人が参加し、プログラムを実施できた。

特にチーム新潟においては、11 回実施ができ、活発な活動となっている。

各地域の活動は 2.3) 地域チームの形成サポートとパートナー連携の促進(P7)を参照

■実績：地域チームによるプログラム実施

	月	日	曜日	地域	対象団体名	区分／対象	学年	生徒数	大人人数	プログラム名
1	6	29	土	北関東	泰山木のある家	児童養護施設	-	11	8	すきなものビンゴ＆お仕事マップ
2	8	18	日	北関東	北関東メンバー友人グループ	親子	-	16	10	すきなものビンゴ＆お仕事マップ
3	11	2	土	北関東	自由学園最高学部	大学	1	23	15	すきなものビンゴ＆お仕事マップ+わくわくエンジン発動シート
4	1	30	木	東京	練馬中学校	中学校	1	112	19	すきなものビンゴ＆お仕事マップ
5	11	21	木	新潟県三条市	大浦	小学校	4	10	3	すきなものビンゴ＆わくわくエンジン発見プログラム
6	8	24	土	湘南	一般募集	親子	-	12	4	すきなものビンゴ体験版
7	4	13	土	新潟	一般募集	その他	1	12	5	すきなものビンゴ＆わくわくエンジン発見プログラム
8	8	21	土	新潟	一般募集	親子	-	10	4	すきなものビンゴ
9	8	24	土	新潟	一般募集	親子	-	6		すきなものビンゴ
10	8	26	月	新潟	一般募集	小学生・大学生	-	17	5	すきなものビンゴ
11	9	25	水	新潟	大形小学校	小学生・大学生	6	61	10	すきなものビンゴ
12	9	26	木	新潟	大形小学校	小学生・大学生	6	92	12	すきなものビンゴ
13	10	21	月	新潟	赤塚	小学校	6	49	13	すきなものビンゴ
14	11	5	火	新潟	日和山	小学校	6	49	17	すきなものビンゴ
15	11	17	日	新潟	新津青年会議所	その他	-	19	7	すきなものビンゴ
16	7	9	火	新潟市	江南	小学校	5	60	6	すきなものビンゴ
合計								559	138	

●パートナーによるプログラム実施

■計画

くさつ未来プロジェクト（略称：KMP）、金沢大学、クリップアカデミー、千葉生活クラブなどのパートナーによるプログラム実施を年度内に計 6 回程度想定している。パートナーそれぞれの特色、領域を活かし、一つひとつが有効な事業モデルとなるよう連携する。

■活動サマリ

KMP、EGAHOUSE、千葉生活クラブにおいて、当初 6 回の計画に対し 4 回追加し、10 回を計画したがコロナの影響で、3 月がキャンセルとなり 9 回開催、189 名の子どもたちに、61 名の第三の大人が参加し、プログラムを実施できた。

各地域の活動は 2.3) 地域チームの形成サポートとパートナー連携の促進(P7)を参照

■実績：パートナーによるプログラム実施

月	日	曜日	地域	パートナー名	対象	生徒数	大人人数	プログラム名	
1	7	7	日	滋賀県栗東市	NPO法人くさつ未来プロジェクト	一般公募の小中学生	32	10	すきなものビンゴ＆お仕事マップ
2	11	10	日	滋賀県草津市	NPO法人くさつ未来プロジェクト	一般公募の小中学生	6	4	すきなものビンゴ＆お仕事マップ
3	11	24	日	滋賀県草津市	NPO法人くさつ未来プロジェクト	一般公募の小中学生	17	6	すきなものビンゴ＆お仕事マップ
4	1	6	月	滋賀県甲賀市	NPO法人くさつ未来プロジェクト	一般公募の小中学生	6	7	すきなものビンゴ＆お仕事マップ
5	9	22	日	島根県江津市	ゴウツわくわく研究所	一般公募の小中高校生	16	6	すきなものビンゴ＆お仕事マップ
6	11	6	水	島根県江津市	ゴウツわくわく研究所	島根県立江津高等学校1年生	72	5	すきなものビンゴ＆お仕事マップ＋わくわくエンジン発動シート
7	2	21	金	島根県江津市	ゴウツわくわく研究所	江津市立郷田小学校6年生	25	6	すきなものビンゴ＆お仕事マップ
8	7	28	水	千葉県千葉市	生活クラブ千葉	生活クラブの会員親子（小中学生）	15	11	すきなものビンゴ＆お仕事マップ
9	10	10	木	千葉県君津市	生活クラブ千葉	社会福祉法人生活クラブ 児童養護施設はぐくみの杜君津 の職員と子ども		6	すきなものビンゴ＆お仕事マップ
合計							189	61	

2. キャリアプログラムの普及啓発事業

収益金額：7,636,074.

費用金額：3,101,376.

1) わくわくナビゲーターの養成

■計画

キーパーソン 21 の考えや活動の普及を目的として「わくわくナビゲーター養成講座」を開催する。プログラムは「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」「個別アクションプログラム」「コミュニケーションゲーム」。前二者には「引きだしトレーニング」の組み合わせも行う。開催回数：年 15 回程度

■実績

◆キーパーソン 21 主催

- ・わくわくナビゲーター養成講座の開催回数は 14 回で 125 名を養成した。
- ・静岡、松本、沖縄、新潟 など全国各地で養成講座を開催した。
- ・ビンゴは、どのポジションで参加したいかによって受講する講座が異なるため、希望に添って柔軟な対応で開催した。結果としてビンゴを地域に展開する担い手となるナビゲーターを昨年度と比較して多数誕生させることに成功した。
- ・個別アクションプログラムの開催は、ビンゴでわくわくエンジン®まで引き出せる内容になったことや実施校が川崎高校定時制だけとなり、開催回数が減少した。
- ・キーパーソン 21 の理念の中で重要な部分を体感できるコミュニケーションゲー

ムを会員に定着させる目的で、オンラインによるプログラムの紹介を行い、講座も 3 回開催した。

回数	PG名	実施内容詳細	内訳人数	開催日	開催場所
1	ビンゴ & マップ	ビンゴメイン	7	6月20日	小杉・中原市民館
2		ビンゴ体験+引き出し+メイン	8	9月28日	小杉
3		ビンゴ体験+引き出し+メイン	10	2月15日	小杉
4		ビンゴ体験+引き出し	6	5月16日	小杉
5		ビンゴ体験+引き出し	17	6月15日	小杉・自治会館
6	コミュニケーション	コミュトレ1、2、3	7	7月4日	小杉
7		コミュトレ1、2、3	5	10月19日	小杉
8		コミュトレ1、2、3	10	1月11日	小杉
9	個別	個別引き出し	4	4月7日	小杉
10	ビンゴ & マップ	ビンゴメイン	6	10月27日	沖縄
11		ビンゴ体験+引き出し+メイン	18	4月20日	静岡
12		ビンゴ体験+引き出し+メイン	6	7月6日	松本
13		ビンゴ体験+引き出し	10	7月27日	沖縄
14		ビンゴ体験+引き出し	11	10月6日	新潟
			125		

◆パートナー主催の養成講座受講者数

EGAHOUSE&COMPANY

・すきなもののビンゴ & お仕事マップ 体験+引き出し・・・8/4（9名）、8/5（17名）、9/20（12名）

・すきなもののビンゴ & お仕事マップ メイン・・・9/21（8名）

生活クラブ千葉

・すきなもののビンゴ & お仕事マップ 体験+引き出し+メイン・・・4/24、25（18名）11/16（9名）

感性労働研究所

・すきなもののビンゴ & お仕事マップ 体験+引き出し・・・10/14（9名）

・すきなもののビンゴ & お仕事マップ メイン・・・10/20（9名）

くさつ未来プロジェクト

・すきなもののビンゴ & お仕事マップ 体験+引き出し・・・12/14（8名）

・すきなもののビンゴ & お仕事マップ メイン・・・12/15（7名）

◆認定委員会を 2020 年 3 月 29 日に開催した。

「すきなもののビンゴ & お仕事マップ」1 名が前年度の仮認定から 1 級認定、3 名が 1 級認定、1 名が仮認定された。

2) 講師の養成

■計画

全国へのプログラム実施が容易となるよう、「わくわくナビゲーター養成講座」講師の養成を図る。

■実績

「すきなもののビンゴ & お仕事マップ」の「引き出し」講座を行えるわくわくナビゲーター養成講座の講師として 2 名を養成した。

3) 地域チームの形成サポートとパートナー連携の促進

●地域チーム形成のサポート

■計画

地域の課題を解決しようとする会員が集まり、主体的に活動しようとする動きに対し、わくわくナビゲーターの養成、広報による支援、情報の収集と提供、ノウハウの伝授などを通じ応援していく。

■活動サマリ

- ・現在、北海道、新潟、北関東、東京、湘南、静岡の6地域で地域チーム活動中。
- ・地域チーム運営に必要なツール（口座開設、会計報告ツール、イベント実施ガイドライン等）の整備を行った。
- ・各地域チーム設立時と年度末のヒアリング（ビジョンシート・メンバーの確認）実施。
- ・地域チームリーダー会をオンライン会議システムを利用し2回開催。
- ・広報支援として、地域チーム活動の発信（会員 ML、HP、FB 等ツールの活用）。また、キーパーソン 21 ホームページに地域チームコーナーを作成。
- ・地域でわくわくナビゲーター養成講座を開催。（人数については別途 2-1 参照）

● パートナー連携の促進

■計画

地域で課題解決を図っている団体に、プログラムの利用契約に基づくノウハウの提供などを通してキーパーソン 21 の考え方を広く届けることを目指す。

■活動サマリ

5 法人のパートナー提携を結び、活動している。

- ・クリップアカデミー（塾）（3 年目）
- ・認定 NPO 法人くさつ未来プロジェクト（3 年目）前年度に引き続きわくわくナビゲーター養成講座を実施。2020 年度にはくさつ未来プロジェクトと連携し、草津市から受託したまちづくり事業開始。2021 年 3 月開催コカ・コーラファンドプロジェクト推進団体（新規団体）
- ・江津市（EGAHOUSE & COMPANY）わくわくナビゲーター養成講座 4 回実施 37 名のわくわくナビゲーター誕生。2021 年開催コカ・コーラファンドプロジェクト推進団体
- ・生活クラブ千葉（わくわくプロジェクト CHIBA）わくわくナビゲーター養成講座 2 回実施 27 名のわくわくナビゲーター誕生。
- ・(株)感性労働研究所 9 名のわくわくナビゲーター誕生。

4) 広報、コミュニケーション活動

● WEB、SNS の改良・改善

■計画

現在のホームページを含むウェブ・システムをより見やすく使いやすいものに改良し、キーパーソン 21 の活動内容を広く確実に届けていく。また、ネット上への動画配信や、セミナー等の可能性を探る。

■活動サマリ

- ・WEB サイトの改良については、制作会社と改修を進めたが、サイトのコンテンツ管理システムの適切性などを鑑み、一旦プロジェクトを停止。改めて広報に協力いただける方たちのリソースを踏まえ、広報全体の戦略を見直しサイトの位置づけを明確化。日常での改修・運用を行いながら、現在対応できるリソースに合わせた改修を計画中。

● マーケティング施策を打つ

■計画

WEB、SNSなどで、今届いていない人のところへ届け、よりブランドの確立と拡散の施策の実行を開始する。

■活動サマリ

- ・WEB サイトの改良のペンディングと広報全体戦略の見直し実施のため、大きく進展はしていないが、世の中のオンラインコミュニケーションの増加に合わせ、動画制作・活用をベースとした広報を計画実施。3月21日のキーパーソン21の日の法政大学児美川教授との対談をコンテンツ化。YouTube にアップするなど今後対談等をシリーズものとして発信し、映像による広報を広げていく予定。

● 調査研究、効果測定結果を活用する

■計画

事業の6つの領域で抱える課題を調査研究、効果測定結果をもって、関係各所に提言の可能性を探る。

■活動サマリ

- ・活動の効果を測る、効果測定の方法を考案し、川崎市の寺子屋や江津市のプロジェクトでトライアル実施。今後改善を行っていく。
- また今後、法政大学児美川教授とコラボレーションし、わくわくエンジンを発見、活用している人たちの変化変容を発信すると同時に、モデルケースとして科学的に分析、発信していくことを合意した。

● 記事作成

■計画

活動する会員や地域のわくわくイノベーター[®]、教育に詳しい著名人などのインタビュー記事や対談などの読み物記事の作成を行い、認知拡大を行う。

■活動サマリ

キーパーソン21の具体的な動きや活動を記事化して公式HPで発信。その時々生き生きとした表情（写真）や文章を残し、認知拡大、ファンづくりに貢献。

■実績：公式HPやFaacebookへの記事掲載数

HP39本、FB133本

<公式HP>

- ・オンライン開催レポート4
- ・地域チームで開催した実施やトークセッションの記事9
- ・本部開催イベント記事（総会、意見交流会、学生会員卒業イベント）4
- ・企業の子ども応援プロジェクト記事7
- ・コカ・コーラ5by20記事4
- ・全国各地の代表講演記事4
- ・その他（会員紹介、有明PJ、未来の先生展、寺子屋、社会課題を考える会）7

<Facebook>

133投稿（キーパーソン21の全投稿数）

各地の実施レポート、イベントのお知らせ、学生イベントの動画など

● イベント

■計画

多くの会員が参集する定時総会の機を利用して、年度の団体としてのキーメッセージを届けるイベントを開催する。活動のモデルを伝え考える機会としてのイベントを開催する。

■活動サマリ

・定期総会開催

2019 年 6 月 2 日(日) 定期総会とイベントを開催

第 1 部…定期総会

第 2 部…わくわくイノベーター6 名の講演とグループディカッション

<http://www.keyperson21.org/diary/wakuwaku-engine/11060>

・未来の先生展に出展・講演

2019 年 9 月 14 日(土)、15 日(日)「未来の先生展」に出展&講演

会場：明治大学・駿河台キャンパス

<http://www.keyperson21.org/diary/wakuwaku-engine/11545>

・学生会員卒業イベント開催

2020 年 3 月 21 日(土) 学生会員卒業イベントをオンライン開催

・卒業生 3 名の旅立ちのプレゼンテーション

・法政大学キャリアデザイン学部 児美川孝一郎先生の講演

・児美川先生と朝山代表理事との対談

<https://www.facebook.com/atsuko.asayama/posts/3123186244380223>

●大学、企業、自治体、諸団体との連携

■計画

子どもたちや学生を取り巻く大人や、所属団体、地域行政といったステークホルダーと積極的に連携していく。

協賛企業同士の意見交換や、他団体主催のイベントなどへの出展などしながら、PTA・教育委員会・地元企業・行政などとの協働を図っていく。

■活動サマリ

- ・協賛企業と協働で、東京都港区、渋谷区、江東区、川崎市内の学校におけるキャリア教育を支援する活動に加えて、コカ・コーラ協賛の「コカ・コーラ 5by20 女子起業！わくわくプロジェクト」や米国コカ・コーラ財団との協働プロジェクト等により全国での普及活動を推進した。

■実績

協賛企業 6 社、法人会員 15 社(うちパートナー 5 団体)、学校支援対象 25 校、コカ・コーラ 5by20 女子起業！わくわくプロジェクト対象 7 校、米国コカ・コーラ財団との協働プロジェクトでの協働対象 12 拠点候補、継続参加決定 4 拠点。

キーパーソン 21 の理念に共感いただき、活動を支援いただいている東京都及び神奈川県協賛企業、教育委員会、行政などと定期的にキャリア教育に関する意見交換を行うとともに、2020 年 2 月に意見交換のための交流会を開催し、キャリア教育の在り方や「わくわくエンジン」が当たり前の社会を実現するために、一人一人がどうチャレンジしているのかについて活発な意見交換を行った。意見交換会参加人数 37 名(うちキーパーソン 21 スタッフ 13 名)。

●説明会の開催

■計画

キーパーソン 21 の活動に関心を持つ人々に直接ミッション、ビジョン、バリューを伝え、質問や疑問に応え、共に活動する仲間を増やす。川崎に限らず、全国各地においても地域の会員により開催。川崎においては年間 8 回開催。

■活動サマリ

- ・年 7 回開催。5 月以降は基本的に奇数月開催

- ・3月には新型コロナウイルスの影響で通常開催が難しかったため、オンライン説明会を企画・実施
- ・説明会資料更新
- ・全7回 参加者合計 65 名 内入会者 23 名

● 講演、セミナー、研修、イベントと開催など

■ 計画

キーパーソン 21 のミッション、ビジョン、バリューを多様な機会と場所で全国に知らしめていく。

■ 活動サマリ

全国からのご依頼に応じる形で 17 回行った。(2～3 月に予定されていた湖南省、滋賀県大津市での 2 回はコロナで延期となった。) これにより、共感する個人会員が増えたり、各地で地域チームの結成やプログラムの導入につながった

■ 実績

	年月日	タイトル	主催	場所	参加人数
1	2019/5/11	一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる	中野区小学生学習支援事業「しいの木塾」(全体研修会)	帝京平成大学内(中野区)	42
2	2019/5/29	わくわくエンジンから始まるイノベーション	キャノンマーケティング講演(WDL主催)	キャノンマーケティング社内(品川区)	130
3	2019/6/10	一人ひとりのわくわくエンジンを引き出したいと思った私の原点	TIPS	みんなの想いをカタチにする場 TIP※(千代田区)	50
4	2019/7/29	～未来を切り拓く力～ 一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる	沖縄うるま市オリエンテーション	うるま市役所 東等2階第一会議室	20
5	2019/9/10	一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる	川崎100人カイギ	Unico川崎(川崎市川崎区)	58
6	2019/9/26	子どもの可能性をひらく、3つのこと？！	生活クラブ高津センター	パサールベース(川崎市中原区)	30
7	2019/9/28	自信を持って自分らしく働き続けるために必要な3つのこと	連合静岡男女共同参画委員会	第4回 女性リーダー情報交換会(沼津)	80
8	2019/10/24	動きださずにはいられない原動力を引き出す3つの方法	世田谷区立瀬田中学校PTA	世田谷区立瀬田中学校図書室	25
9	2019/10/26	一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる	NPO法人キッズドア	中央区環境情報センター 研修室1	30
10	2019/11/7	一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる	島根若者サポートステーション	ビッグハート出雲	120
11	2019/11/8	一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる	鳥取若者サポートステーション	米子市福祉保健総合センター	80
12	2019/11/26	わくわくエンジンで 自分に新しいアンテナをたてる2日間	中山、佐礼谷小、中山中3校合同	中山地域事務所(愛媛県伊予市)	58
13	2019/11/29	子どもたちの「わくわくエンジン」を引きだそう！	横浜市立菊名小学校PTA	横浜市立菊名小学校体育館	40
14	2019/12/4	子どものやる気を引き出すために大切な3つのこと	光が丘公民館区青少年健全育成協議会	光が丘公民館 大会議室(相模原市)	105
15	2020/1/10	若者の職業的自立のためにできること 一人ひとりのわくわくエンジン@が未来をつくる	みやざきサポートステーション	宮崎県企業局県電ホール	100
16	2020/1/16	Let's think<考動> ～気づき！発見！引き出す心～	北大和小学校PTA	大和市立北大和小学校 図書室	30
17	2020/1/18	自信を持って自分らしく働き続けるために必要な3つのこと	スズキ関連労働組合連合会	呉竹社(静岡県浜松市)	52
		合計			1008

●各地域チーム 活動サマリ

<チーム北海道>

わくわくトークセッション 2 回開催、EDUFES 北海道（地域イベント）にも積極的に参加。（月 3,000 円の継続寄付 2 社獲得）

<チームにいがた>

4 月に各学校、PTA 向けのポスティングの効果で、6 校の小学校でのプログラム実施につながった。大学や地域との連携も積極的にすすめている。

<チーム湘南>

鶴嶺高校ボランティア塾で活動紹介を行ったり、藤沢市役所 PR ポスター展示したり、地域との連携を強化中。

<チーム北関東、にいがた、湘南>

親子でのプログラム実施を行った。地域での親子プログラム実施のニーズ有。

<チーム静岡>

- ・西部地区で説明会開催。
- ・静岡メンバーからの紹介で企業研修 2 件獲得。

3. 社会参加支援事業

収益金額 : 14,853,688. 費用金額 : 12,228,596.

1) 川崎市学習支援・居場所づくり事業（通称：なかわく）

■計画

生活保護家庭で育つ子どもたちを対象とした川崎市の委託事業。2019 年度からは小学 5、6 年生および一人親家庭で育つ子どもたちをも対象とする。主体的な進路選択のため「個別アクションプログラム」を「面接対策プログラム」として実施。

日時：火曜日～金曜日の週 4 日開催 年 176 回 /2 か所

場所：川崎市中原区内 2 か所

受益対象者：生活保護家庭および一人親家庭で育つ小学 5、6 年生並びに中学生、約 50 名、卒業した高校生

■活動サマリ

- ・中丸子教室と新城教室の 2 教室で、子どもたち 53 名（小学生 16 名、中学生 37 名）に対し、学習支援を実施。中学 3 年生 15 名は全員志望校に合格。
- ・今期スタートした小学生（5・6 年生）は、グループ学習と個別学習を組み合わせ、子どもの特徴に沿った学習支援を行った。
- ・キャリア教育プログラムの「面接対策プログラム」と「すきなものビンゴ」の実施データや子どもへのアンケート結果を、サポーター間で情報共有するシステム「なかわく Utility」を構築した。
- ・学習サポート強化の一環で、e ラーニングの「天神」システムの導入を決め、来年度から本格的に活用していくことにした。
- ・3 月度は新型コロナウイルス感染の拡大で学校が臨時休校になったが、川崎市と連携した感染防止策をとり、オンラインにより学習支援と居場所としての支援を実施した。

2) 学習支援・居場所づくり自主事業（通称：こすわく）

■計画

経済的困難や生きづらさを抱える中高生を対象とした自主事業を継続する。状況に応じて、主体的な進路選択のための「個別アクションプログラム」を実施。

NKK シームレス鋼管や地元団体や個人からの寄付による。

日時：月曜日 30 回の英会話 と 水曜日 44 回の一般教科への基礎学習支援

場所：川崎市中原区内

受益対象者：英会話 6 名程度、基礎学習 8 名程度

■活動サマリ（こすわく）

今年度は7名の生徒で行った。

中3生一人は第一志望校の川崎工科高校へ合格。中2生二人はやる気にあふれ、順調に成績を上げている。支援校を卒業した「学び直したい」という二人の社会人も受け入れていたが、一人は初任者研修の資格を取得し、介護の仕事に就いた。

また、19年度は保護者からの強い要望で、自閉症の小学4年生も一人、特別に受入れた。この生徒については、来年度から区の学習支援の対象になるので、そちらへ誘導。

他に、昼間の時間帯に不登校の中1生を一人受け入れた。入室当初は、マスクを外さず、口数も極端に少なかったが、徐々に話をしてくれるようになり、笑顔も見られるようになった。「4月からはクラス替えもあるから学校に戻れる」と本人が明るく言っているので、こすわくから巣立って行くと思われる。

■活動サマリ（こすわく英会話）

- ・モロッコにて英語教育の研修を受講したネイティブ講師を採用して、モダンクイーンズ英会話の提供を努める。
- ・受講生のレベルを勘案して、日本人バイリンガル講師を増強して、生徒のニーズを的確に分析して、苦手部分のフォローを行い、基礎会話能力面の伸長を図る。
- ・歴史、地理、科学等のテーマを選定して事前準備学習した上で、実践的会話練習を実施し、併せて保有語彙の伸長を図る。
- ・英語構文のパターンの理解と日本語との違いを丁寧に説明して、英語からの発想を心がけるよう指導し、スムーズな英会話ができるよう留意する。
- ・ネイティブイングリッシュを強く意識したリズム、イントネーション、リダクションの反復に力点を置いて、高いレベルの会話能力の伸長に努める。
- ・NHKワールド番組のDVD等のツールを活用して、幅広い世界観の紹介と関連会話の練習により、英会話を学び、使いこなすための興味の伸長に努める。

■成果

- ・英検合格によるIT企業への就職達成。
- ・基礎英会話能力の伸長による学校成績の向上と日常活動における自信のアップ。

3) 川崎市寺子屋事業

川崎市教育委員会より、4年目となる寺子屋事業の委託を受け、中原区内にある川崎市立今井小学校で事業を展開した。

子どもたちに放課後の居場所を提供すると同時に、地域で子どもたちを育てるため、地域の大人を中心とするスタッフにより子どもたちへ学習支援を行った。また、週末を使って普段学校では教わらないような学びを提供した。

■計画

年間26回の水曜日の放課後に学習支援の場を、年間6回の土曜日に親子を対象とする体験学習の場を今井小の子どもたちとその保護者に提供する。

■実績

学習支援：2019年5月最終週を皮切りに翌年2月最終週まで、26回の水曜日の放課後を学習支援活動に充てた。今年度は8名の地域の大人と3名の保護者が寺子屋先生となり、31名の参加児童の学びをサポートしてくださった。宿題やプ

リント学習にとどまらず、季節の行事や国際的イベントに因んだ工作、読み聞かせなど、各回 1 時間の内容を充実したものとなるよう心がけた。

体験学習：保護者と共に参加する寺子屋として 6 月 29 日から翌年 3 月 28 日まで 6 回開催予定であったが、最終回の第 6 回「グレイッシュとモモ」上演については、劇中のダンスの場面に参加する児童や保護者とのダンス練習を重ねていたところ、教育委員会から新型コロナウイルス感染拡大予防の要請があり上演中止となった。一方、第 1 回から第 5 回は会員でもある映画監督、漫画家と共同で、大人延べ 80 名、子ども延べ 90 名に、自分の中にあるわくわくエンジンに気づき、発動させるきっかけとなるプログラムを実施した。

■成果

2019 年度はキーパーソン 21 らしさを出した寺子屋運営という目標の下、学習支援と体験学習両方の場で「すきなもののビンゴ」のプログラムを実施し、各自が持っているわくわくエンジンに気づく場を提供した。

- ・ 平日の学習支援に今井小学校の保護者 3 名が寺子屋先生として参加し、地域の大学生・高齢者と一緒に子どもたちを育んでくださった。また、保護者のうち 2 名が会員となって新年度の活動をさらに支援することになり、より一層の大きな成果が期待できる。
- ・ 親が子どものわくわくエンジンを応援するような親子関係を目指して、体験学習 5 回のプログラムを構成し、5 回通しの参加を勧めたところ、3 組の親子（父娘）が全回出席。
- ・ 会員である映画監督と漫画家とプログラムを共同で運営し、ストーリー作りや動画制作が持っている可能性を感じることができた。

4. 人材育成を目的とした企業、団体等への助言、研修事業

収益金額 ： 706,508. 費用金額 ： 296,222.

わくわく感を喪失しているのは子ども世代とは限らず、社会人であっても自分を見出せない人は少なくない。キーパーソン 21 のプログラムが人材育成にも有効であるとの声が大きくなっている。

● キャリア教育支援、子ども応援企業へのコンサルティング

■計画

博報堂 H-CAMP への継続的支援

■活動サマリ

- ・ アドバイザリーとして博報堂 OPEN-CAMP に 6 回参加した。20 年度も継続。

● 教員・行政職員・一般企業社員へのプログラム実施

■計画

ニーズに合わせてプログラム開発を行う

■活動サマリ

（静岡チームからのご縁により、女性活躍推進目的の依頼が 2 件）

- ・ 連合静岡男女共同参画推進委員会 女性リーダー対象：80 名
- ・ スズキ関連労働組合連合会（連合静岡に参加していた方からの依頼）女性リーダー：52 名

（その他、企業や学習支援の学習サポーターへの研修）

- ・キヤノンマーケティングジャパン株式会社への社員研修を行った。リアル参加とオンライン参加で約 130 名参加。
- ・中野区の学習支援を運営する「しいの木塾」の学習サポーター42 名への研修を行った。
- ・NPO 法人キッズドアの学習サポーター30 名への研修を行った。

5. 教育に関わる情報収集、調査研究及び発信事業

収益金額 : 0.

費用金額 : 0.

● 効果測定方法の検討

事業の 6 つの領域で抱える課題を調査研究、効果測定を行う。結果について関係各所に提言する機会を探る。

■活動サマリ

- 1) 子どものみでなく、親を含めた親子の意識や行動に対するプログラムの効果測定
 - ・今井体験プログラム、2019 年 6 月 29 日 から 2020 年 3 月 28 日 計 6 回開催を対象にした効果測定の設計、アンケート票作成、集計および分析を実施(実際は第 6 回は中止)。参加した子どもだけではなく、親の意識の変容を捉えることができた。
- 2) 新プログラムに対する効果測定の検討
 - ・文部科学省の地域政策等に関する調査研究に関連した、地域振興に有効な教育実践の実態把握とその普及方策に関する実践研究(平成 27 年、28 年)を参考に、ロジックモデル、ループリック、SROI を取り入れた効果測定を検討し、新プロジェクトを想定したロジックモデルおよびループリックを取り入れた調査票の設計を行った。
 - また、一部試行段階としてアンケート実施と集計を行った。

6. その他目的達成のために必要な事業

収益金額 : 0.

費用金額 : 0.

■計画

地域グループの形成による情報発信と共有により、活動する会員の掘り起こしと情報の流通を促進する。
会員の持つ知見や経験、発想を最大限に活かし主体的に活動ができるよう、サポートしていく。
大学生応援チーム、ファンドチームの再活性化を支援していく。

■大学生応援 活動サマリ

大学生応援：2019 年度において、大学生会員と社会人会員でお互いの経験談を語り合うシェア会を 2 回開催するとともに、2020 年 3 月に学生会員の卒業イベントを開催し、キーパーソン 21 での様々な学びと社会に旅立つにあたっての抱負などについて 3 名の学生会員がスピーチした。年間を通じて学生と社会人双方にとっての意義のある学びの場を実現することが出来た。

■ファンドレイジング活動サマリ

米国コカ・コーラ財団にわくわくエンジン全国展開による地域創生に関する提案申請を行い、約 1,900 万円の寄付をいただいた。

Ⅱ 営利活動に係る事業

1. その他の事業

1) 寄贈品、グッズなどの物品販売

特に活動計画なし。

2) 著作、出版物の制作・販売

特に活動計画なし。

3) 会員のサークル活動支援事業

特に活動計画なし。

【管理内容】

全国普及に対応できるよう組織改革・基盤強化を行う

- 事務局体制の確立と増強

■活動サマリ

- ・ 事務局長、事務局スタッフ、広報担当の募集を継続実施。
事務局長と広報の担当は、現在も欠員状態。
年度末に 3 名のスタッフが採用できたので、事務局人員不足は軽減。

- 業務マニュアルや規定・規約の文書の整備と管理

■活動サマリ

- ・ 2019 年度は主だった規程・規約の改訂、制定を行うことができた。
社会的貢献を旨とし性善説に立つ NPO であっても、規約・規程の整備は欠かせないし、社会的責任を負っているからこそ改めてルールを定め対外的にも明示できる体制の確立が必要な時代が到来している。
- ・ 2019 年度の成果は次のとおり。

既存の規程・規約の改訂：	3 件
新規に制定した規程・規約・運用則：	4 件
倫理綱領の策定：	1 件
- ・ NPO 評価センターアドバンスト評価
グッドガバナンス認証のアドバンスト評価の書面評価と訪問評価を受けた。27 項目中 2 件の指摘事項があり、2020 年度改善対応予定となっている。

- 経理など外部業者への一部委託

■活動サマリ

- ・ 経理業務のうち、業務の負担を軽減することと外部からの助言を加味した会計とすることを目的に、会計ソフトへの入力業務を NPO サポートセンターへ委託。2019 年 4 月分の入力から依頼を開始した。
- ・ かわしんビジネス Web を 2020 年 1 月に契約。2020 年 2 月支払から運用を開始した。

- 理事会主導による財政基盤の強化推進

■活動サマリ

- ・ コカ・コーラ財団への申請ファンドレイジングにより寄付を受けた。

- 外部識者の知見活用へ向けた整備

■活動サマリ

- ・法政大学キャリアデザイン学部の児美川孝一郎教授へアドバイザーの依頼をした。3/21のイベントにおいて講演及びパネルディスカッションに参加いただいた。

以上

財務諸表の注記

キーパーソン21

2020年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途が制約された寄付金等の内訳は、以下の通りです。

当法人の当期末の現金預金残高は57,511,798円ですが、そのうち16,842,139円は以下の通り使途が特定されています。なお、使途が制約された寄付金の当期末残高と同額を前受金として負債計上しています。したがって使途が制約されていない正味財産の期末残高は39,152,014円です。

〔税込〕（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
寄付金 米国コカ・コーラ財団から	0	19,175,220	2,333,081	16,842,139	残高を前受金として計上

（注）当法人は、米国コカ・コーラ財団との間で「Citizenship Education Model for Local Revitalization」の合意を締結し2019年10月16日に19,175,220円の寄付を受領しており、2019年11月1日から2021年9月30日までの間に合意した所定の活動を行うことにしています。

米国コカ・コーラ財団からの受取寄付は、合意された活動のうち、本会計年度に実施された活動に相当する金額を活動計算書上の経常収益－受取寄付、賛助金として収益計上し、残額は貸借対照表上の前受金として計上しています。

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

〔税込〕（単位：円）

活動計算書での表示科目	取引内容	金額（円）
（経常収益） 受取会費	理事及びその近親者からの会費の受取	120,000円
（経常費用） 事業費	役員報酬 理事への委託費	775,280円 4,016,000円
（経常費用） 管理費	役員報酬 理事への委託費	3,666,720円 520,000円